

Indonesia Weekly

2021年11月22日



(対象期間：2021/11/15～2021/11/19)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2021年11月19日)

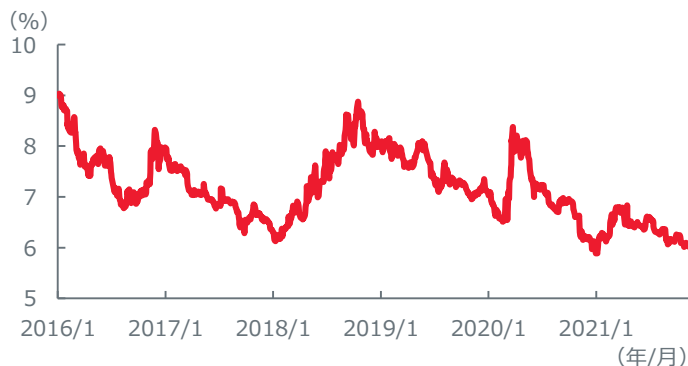


【株式市場】

15日に発表された10月の貿易収支は57.4億米ドルの黒字となり、市場予想を大幅に上回ったものの、利益確定売りを背景に銀行株を中心に下落しました。また石炭株も中国の生産量の増加などを受けて下落しました。その後、デジタルバンク株や自動車関連株が好調となったことや石炭株の買戻しなどを背景に上昇しましたが、18日は政府が年末年始の行動制限を検討するとの報道を受けて上値が重くなりました。19日、6-9月期の経常収支が発表され45億米ドルの黒字となり市場予想を大幅に上回り、株式市場は大幅に上昇、前週末比でも上昇しました。

2021/11/12	2021/11/19	変化率
6,651.05	6,720.26	+1.04%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2021年11月19日)



【債券市場】

15日に発表された好調な貿易収支を好感し、国債利回りは低下（価格は上昇）しました。16日も国内投資家の需要などを背景に利回りは引き続き低下、その後は18日のインドネシア中央銀行（BI）の金融政策決定会合を前にして様子見姿勢が強まり狭いレンジでの推移となりました。18日、BIは市場の予想通り政策金利を3.5%で据え置く一方で、第4四半期に経済活動が加速し2022年の国内総生産（GDP）は2021年を上回るとの見方を示しました。19日はルピアが弱含みとなったことを嫌気して利回りは上昇しました。インドネシア10年国債利回りは、前週末比低下しました。

2021/11/12	2021/11/19	変化幅
6.047	6.036	-0.011

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2021年11月19日)



【為替市場】

ルピアは週初、好調な貿易収支などを好感して上昇しましたが、その後は世界的なインフレ懸念の高まりを背景に世界の中央銀行による早期の利上げ観測が台頭し米ドル高傾向となったため弱含みとなりました。18日、BIは政策金利を据え置きました。ペリー-BI総裁は会合後の会見で国内経済見通しが改善する一方で、海外投資家の資金流入が限定的であることなどがルピアの上値が重い要因であると認識を示し、BIの安定化策によって通貨のボラティリティは管理されると述べました。ルピアは対米ドル、対円ともに前週比下落しました。

2021/11/12	2021/11/19	変化率
0.8024	0.8007	-0.21%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ